

三 川 中 ス タ ン ダ ー ド

(令和6年度後半～令和7年度前半)

学校教育目標
めざす生徒像

新たな一面の 己を磨く 心豊かでたくましく、自ら学び続け、**組織の中で**創造性を輝かせる生徒の育成
○思いやりがあり、心身を鍛える生徒 ○自ら学び続ける生徒 ○勤労を尊ぶ生徒

三 川 中 生 徒 が 伸 び る プ ラ ン (学 力 編)

授業改善は、ふだんの授業から

話し方4か条

- ①名前を呼ばれたら「はい」と大きな声で返事をする。
- ②大きい声と正しい言葉遣いで発表する。
- ③最後まではっきりと丁寧に話す。
- ④声の大きさ、抑揚、スピード、間など

「語彙を豊かに」するために
資料を活用し思考を深める。

話し方と聞き方

聞き方4か条

- ①話す人に注目して聞く。
- ②話終わるまでしっかりと聞く。
- ③自分の考えとの共通点や相違点を見つけながら聞く。
- ④共感的な表情でうなづくなど反応を示しながら聞く。

めあてのある授業

- 子どもの発想・想い・関心を生かす。
- 焦点化して、指導内容を整理する。

わかる・できる授業

- つなぎ・導き・気づかせ・高める展開
- 既習・発想を生かし、伸ばす授業

ノート指導・板書の工夫

- 発達段階に応じたノート指導
- 子どもの思考の流れを構造的に可視化

学習のまとめと振り返り

- 子供の意識に沿ったキーワードでまとめる。5分間の振り返り。

授業に生かす評価

- 評価する観点を絞り込む。
- 学習評価を授業改善に生かす。

学びのマナー

- 時計を見て3分前入室
2分前着席
1分前黙想
- 背筋をのばした正しい姿勢
- 相手に伝わるあいさつと返事
- 意欲を表す挙手発表→人前力
- 共感伝わる学び合いの教室

ICT機器の活用

Chrombookを
毎日使用させ、様々な使い
方を覚え、ツールとして活
用できる

学校全体の重点目標

今年度の学力調査等結果を分析に、**実力テスト等を形成的評価の検証軸**とし、**特定の項目のポイント**を**5ポイント以上向上**させる。

本校の課題

【共通課題】

○**家庭学習の習慣を身につけさせること。【主体性：自律】**

・生徒88% 保護者79% 教職員88%「学校評価アンケートより」の向上

○**自ら進んで発表（人前力）し、議論すること。【多様性：共生】**

・話し手や書き手の意図を捉えながら聞くこと・読むこと、目的に応じ、話すこと・書くことの徹底

○**根拠を明確にすること。【発達性：創造】**

・課題の目的を理解し、論理的に解決しようとすることの徹底

【教科内課題】

R6年度学力調査・検証テスト等の状況から

・(国語科) 読解力はますますであるが、根拠を持って論理的に説明しようとする点に課題がある。

・(数学科) 記述問題での無回答率が高く、根拠を説明する活動が必要である。

・(英語科) 記述問題に課題があり、語彙力を高め、実践的に使用する活動が必要である。

家庭学習の習慣化

家庭学習の時間のめやす（学習塾、読書なども含む）

1年生：2時間
2年生：2時間半
3年生：3時間

- 予習・復習の習慣化
- Chrombookの活用
- 自主学習の定着

学級経営の充実・自主学習の充実・朝読書・朝自習の充実

心の教育を基盤とする生徒指導

家庭との連携